

3. 子どもと教育について

(1) しつけや教育についての考え方

問8. あなたは、子どもの育て方についてどのような考え方をお持ちですか。次の①～③の各項目について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(○印はそれぞれ1つ)

※現在子育て中でない方も、お答えください。

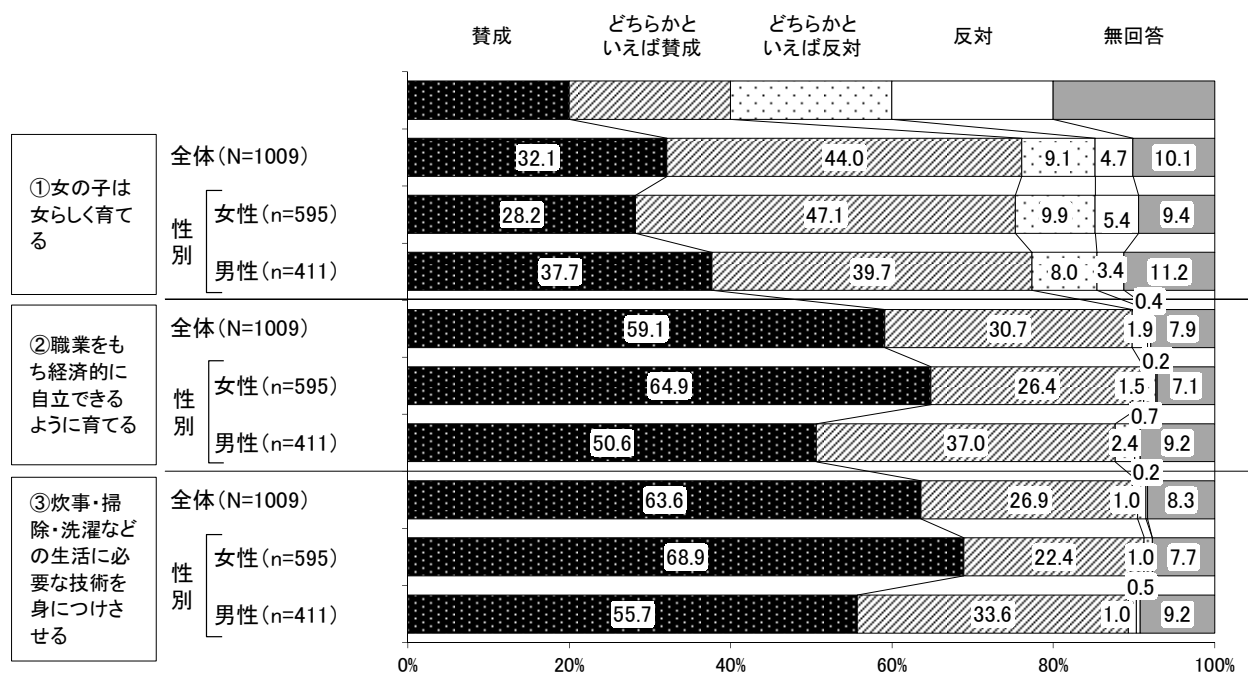
①女の子の場合

「①女の子は女らしく育てる」という考え方については、『賛成派』(=「賛成」+「どちらかといえば賛成」)が76.1%と『反対派』(=「反対」+「どちらかといえば反対」)(13.8%)を大きく上回っており、男女で育て方を分けることに肯定的な人が多い傾向がみられる。性別にみると、『賛成派』は女性が75.3%、男性が77.4%となっており、大きな差はみられない。

「②職業をもち経済的に自立できるように育てる」という考え方については、『賛成派』が89.8%と『反対派』(2.3%)を大きく上回っており、女の子も経済的な自立が必要と考えられていることがわかる。性別にみると、『賛成派』は女性が91.3%、男性が87.6%となっており、大きな差はみられない。

「③炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけさせる」という考え方については、『賛成派』が90.5%と『反対派』(1.2%)を大きく上回っている。性別にみると、『賛成派』は女性が91.3%、男性が89.3%となっており、大きな差はみられない。

■ しつけや教育についての考え方【女の子の場合】(全体、性別) ■

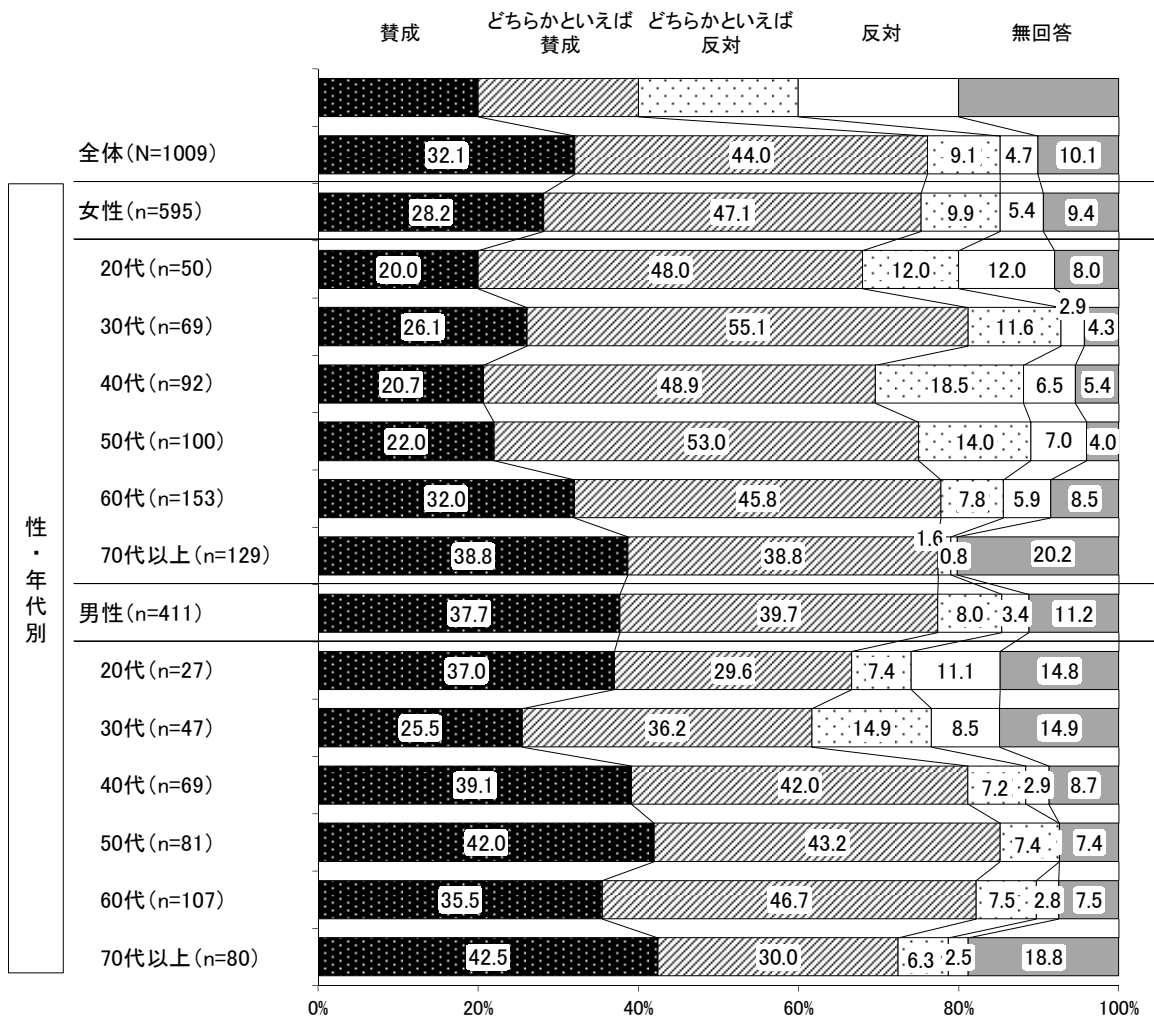


性・年代別に「①女の子は女らしく育てる」という考え方についてみると、女性は『賛成派』の割合が最も高いのが30代（81.2%）で、次いで60代（77.8%）、70代以上（77.6%）の順となっている。

一方で男性は『賛成派』の割合が50代（85.2%）、60代（82.2%）、40代（81.1%）の順となっており、20代、30代、70代以上で女性の『賛成派』が男性を上回っている。

■ しつけや教育についての考え方【女の子の場合】（性・年代別） ■

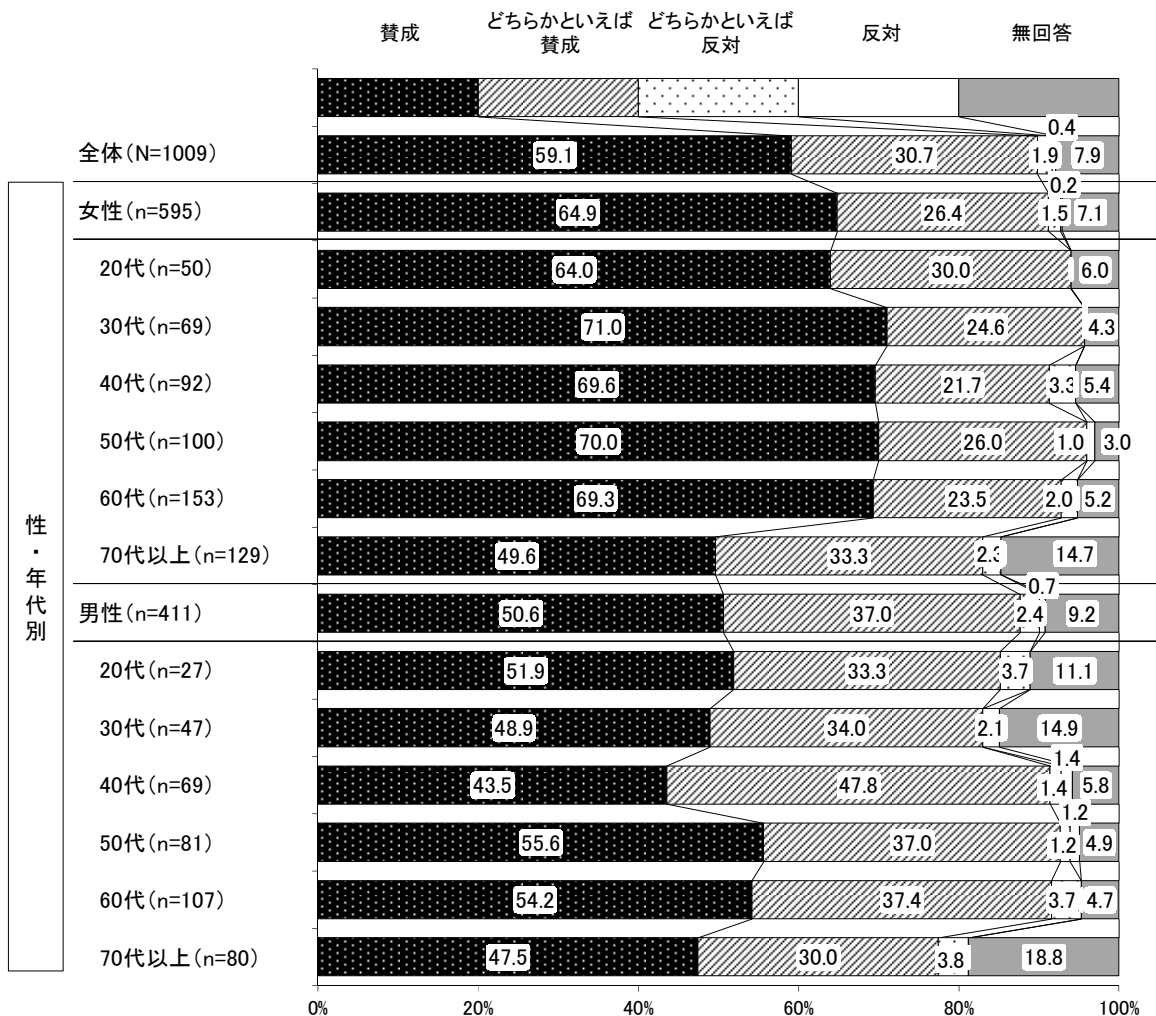
<①女の子は女らしく育てる>



性・年代別に「②職業をもち経済的に自立できるように育てる」という考え方についてみると、女性は『賛成派』の割合が最も高いのが50代（96.0%）で、次いで30代（95.6%）、20代（94.0%）の順となっている。一方で男性は『賛成派』の割合が50代（92.6%）、60代（91.6%）、40代（91.3%）の順となっており、すべての年代で女性の『賛成派』の割合が高いか同率となっている。

■ しつけや教育についての考え方【女の子の場合】（性・年代別） ■

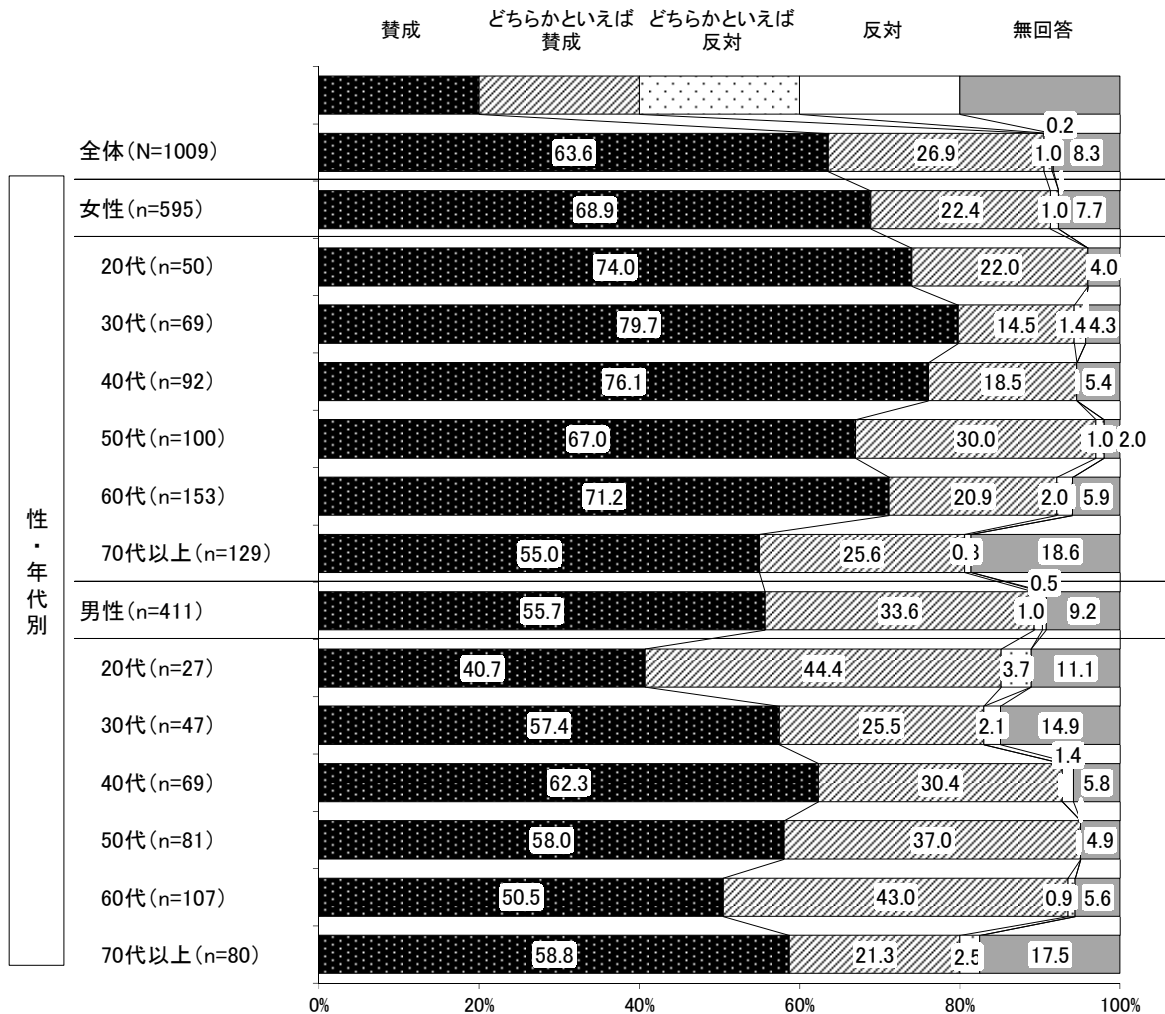
<②職業をもち経済的に自立できるように育てる>



性・年代別に「③炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけさせる」という考え方についてみると、女性は『賛成派』の割合が最も高いのが50代（97.0%）で、次いで40代（94.6%）、30代（94.2%）の順となっている。一方で男性は『賛成派』の割合が50代（95.0%）、60代（93.5%）、40代（92.7%）の順となっており、60代以上のみ男性の『賛成派』が女性の割合を上回っている。

■ しつけや教育についての考え方【女の子の場合】（性・年代別） ■

<③炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけさせる>



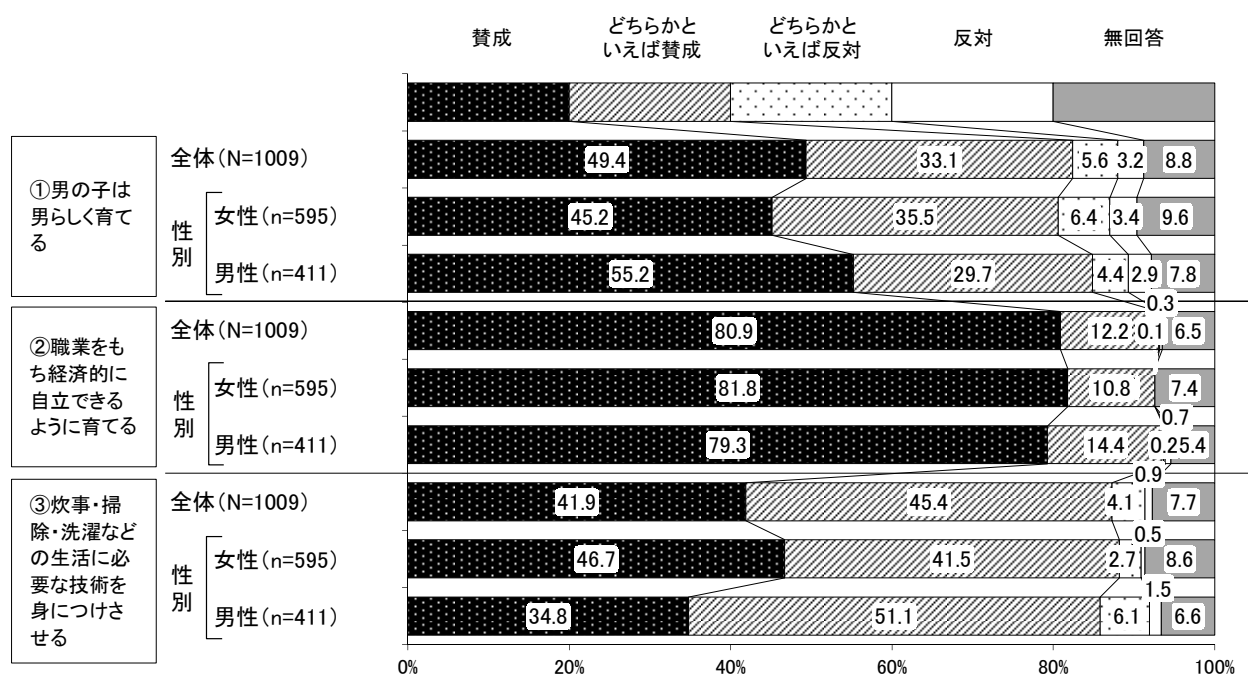
②男の子の場合

「①男の子は男らしく育てる」という考え方については、『賛成派』（＝「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）が 82.5%と『反対派』（＝「反対」＋「どちらかといえば反対」）（8.8%）を大きく上回っており、男女で育て方を分けることに肯定的な人が多い傾向がみられる。性別にみると、『賛成派』は女性が 80.7%、男性が 84.9%となっており、やや男性の割合が高くなっている。

「②職業をもち経済的に自立できるように育てる」という考え方については、『賛成派』が 93.1%と『反対派』（0.4%）を大きく上回っている。性別にみると、『賛成派』は女性が 92.6%、男性が 93.7%となっており、差はほとんどみられない。

「③炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけさせる」という考え方については、『賛成派』が 87.3%と『反対派』（5.0%）を大きく上回っている。性別にみると、『賛成派』は女性が 88.2%、男性が 85.9%となっており、差はほとんどみられない。

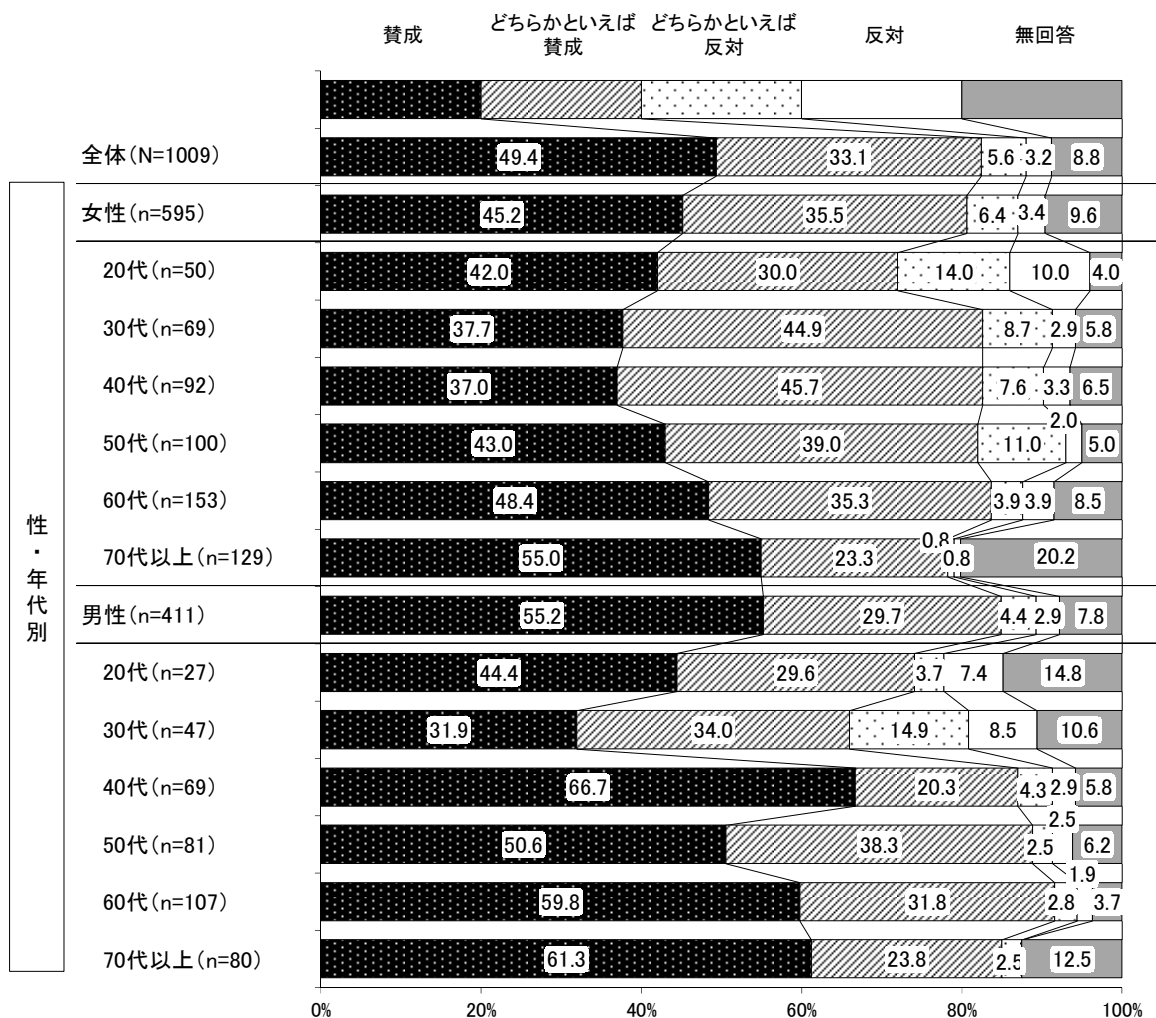
■ しつけや教育についての考え方【男の子の場合】（全体、性別） ■



性・年代別に「①男の子は男らしく育てる」という考え方についてみると、女性は『賛成派』の割合が最も高いのが60代(83.7%)で、次いで40代(82.7%)、30代(82.6%)の順となっている。一方で男性は『賛成派』の割合が60代(91.6%)、50代(88.9%)、40代(87.0%)の順となっており、30代のみ女性の『賛成派』が男性の割合を上回っている。

■ しつけや教育についての考え方【男の子の場合】(性・年代別) ■

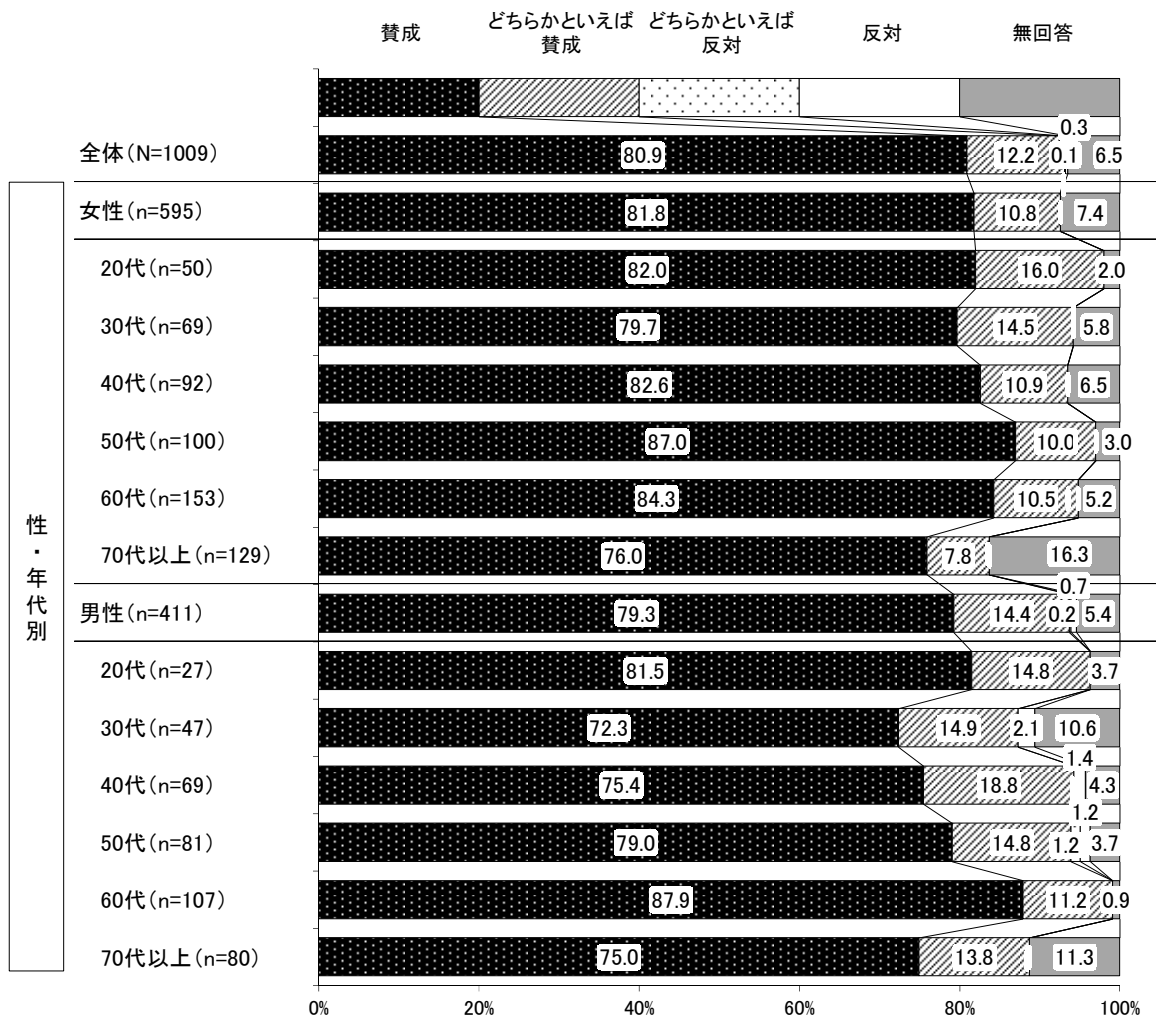
<①男の子は男らしく育てる>



性・年代別に「②職業をもち経済的に自立できるように育てる」という考え方についてみると、女性は『賛成派』の割合が最も高いのが20代(98.0%)で、次いで50代(97.0%)、60代(94.8%)の順となっている。一方で男性は『賛成派』の割合が60代(99.1%)、20代(96.3%)、40代(94.2%)の順となっており、20代、30代、50代で女性の『賛成派』が男性の割合を上回っている。

■ しつけや教育についての考え方【男の子の場合】(性・年代別) ■

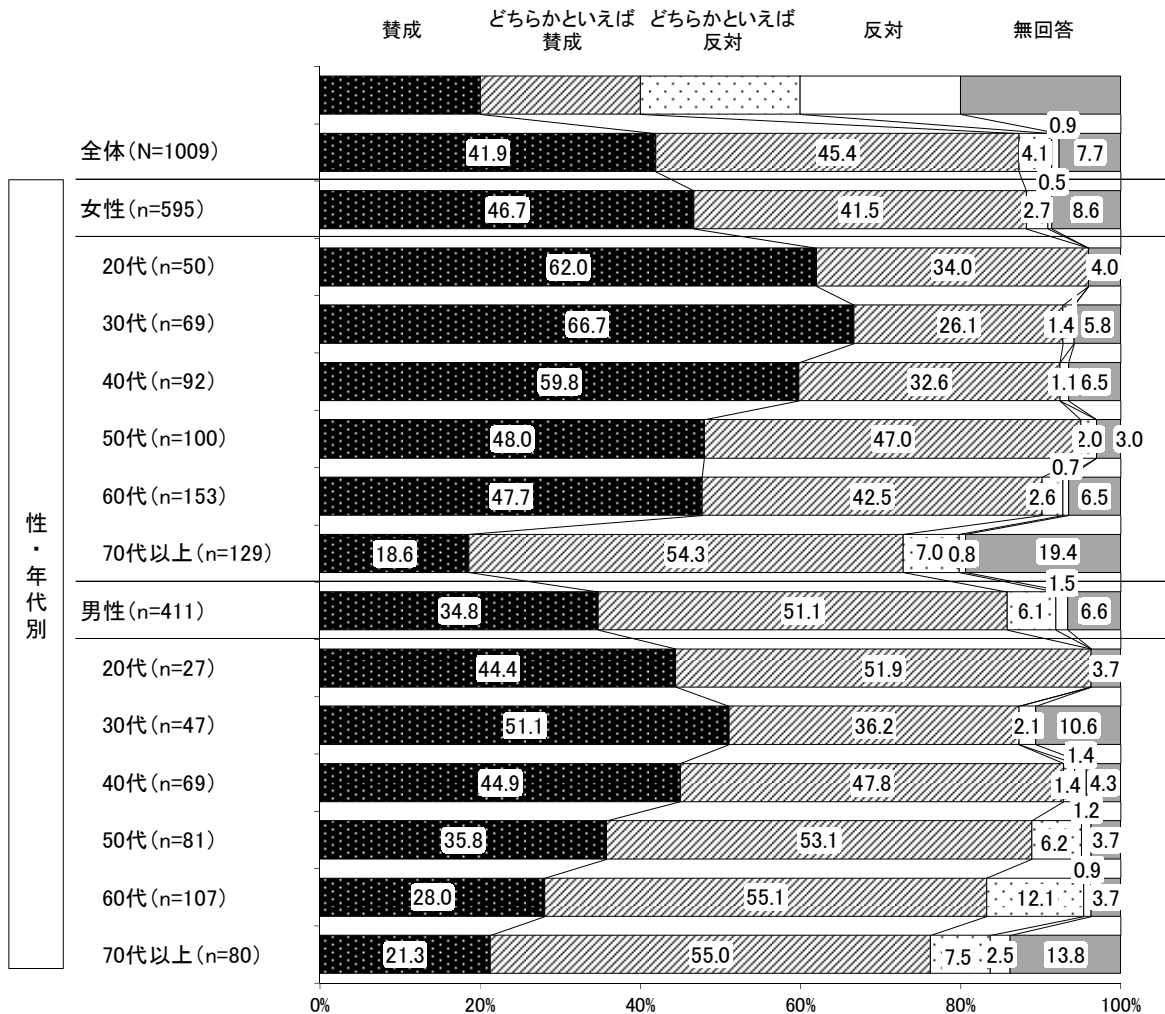
<②職業をもち経済的に自立できるように育てる>



性・年代別に「③炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけさせる」という考え方についてみると、女性は『賛成派』の割合が最も高いのが20代（96.0%）で、次いで50代（95.0%）、30代（92.8%）の順となっている。一方で男性は『賛成派』の割合が20代（96.3%）、40代（92.7%）、50代（88.9%）の順となっており、30代、50代、60代で女性の『賛成派』が男性の割合を上回っている。

■ しつけや教育についての考え方【男の子の場合】（性・年代別） ■

<③炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけさせる>



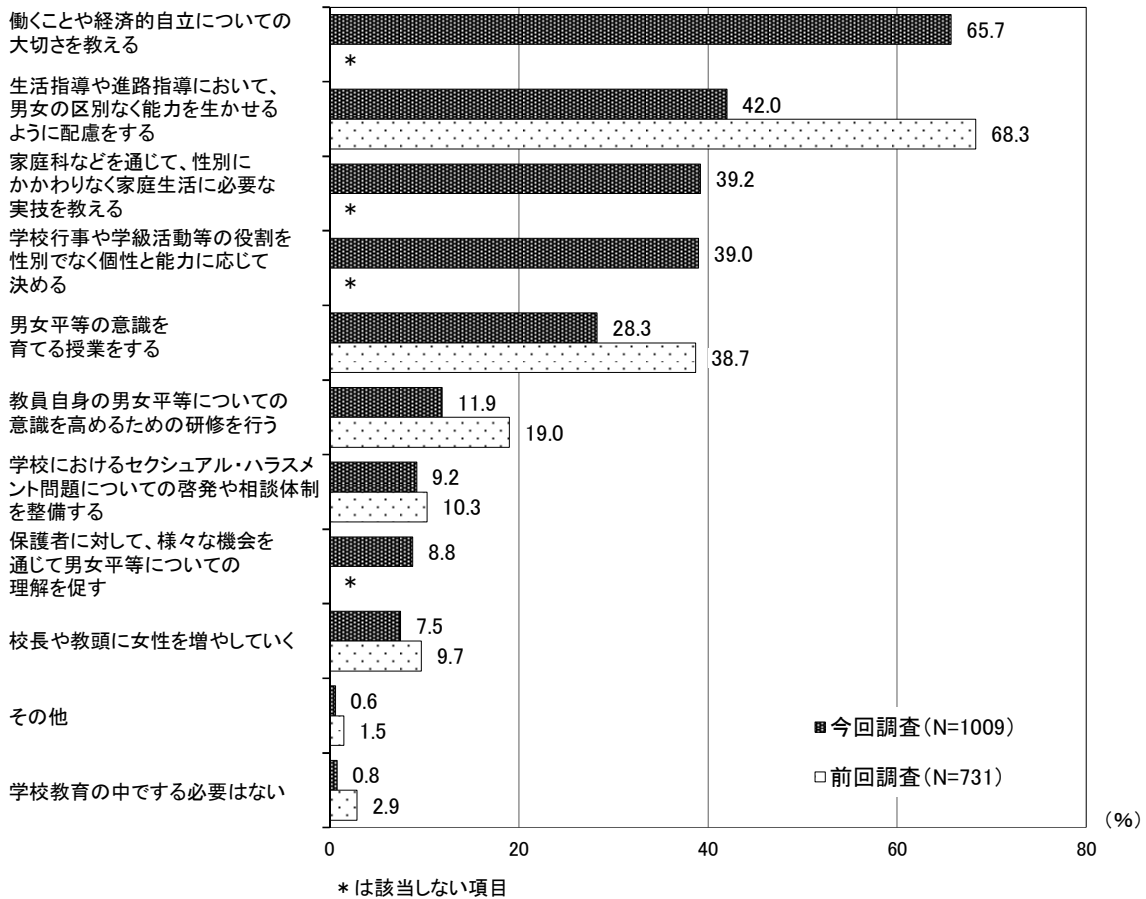
(2) 学校教育における男女平等推進方策

問9. あなたは、学校教育のなかで男女平等をすすめるために、小・中・高等学校で特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(○印は3つまで)

学校教育のなかで男女平等をすすめるために、小・中・高等学校でどのようなことに力を入れたらよいか尋ねたところ、「働くことや経済的自立についての大切さを教える」(65.7%)の割合が最も高く、次いで「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮をする」(42.0%)、「家庭科などを通じて、性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える」(39.2%)、「学校行事や学級活動等の役割を性別でなく個性と能力に応じて決める」(39.0%)の順となっている。

前回調査とは調査項目が異なり比較分析が困難なため、数値は参考程度の掲載とする。

■ 学校教育における男女平等推進方策 (全体) ■



性別にみると男女とも上位項目については全体と同様の傾向となっている。「家庭科などを通じて、性別にかかわらず家庭生活に必要な実技を教える」では、女性（42.4%）が男性（34.8%）の割合をやや上回り、「教員自身の男女平等についての意識を高めるための研修を行う」では男性（16.5%）が女性（8.6%）の割合をやや上回っている。

前回調査とは調査項目が異なり比較分析が困難なため、数値は参考程度の掲載とする。

■ 学校教育における男女平等推進方策（性別） ■

